

会 議 録

1 会議名

令和5年度第2回新道区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 協議事項（公開）

○ 地域活性化の方向性について

(2) 自主的審議事項（公開）

(3) その他

3 開催日時

令和5年5月23日（火）午後6時から午後7時まで

4 開催場所

新道地区公民館 多目的ホール

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：秋山 茂、飯塚幸太郎（副会長）、井澤 愛、金井 正、小玉朋子、
佐藤三男、杉田榮作、千町健実、高野ゆかり、塚田仁子（副会長）、
船崎 聡（会長）、本城敏男、三浦正郎、横山明夫

・事務局：中部まちづくりセンター：小林所長、井守副所長、渡邊係長、山崎主事

8 発言の内容

【渡邊係長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【船崎会長】

- ・会長挨拶

【渡邊係長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 1 項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【船崎会長】

- ・会議録の確認者：飯塚委員
次第 2 議題「(1) 協議事項」の「地域活性化の方向性について」に入る。事務局から説明を求める。

【渡邊係長】

- ・地域活性化の方向性について、資料により説明

【船崎会長】

今の説明に質疑を求める。

【三浦委員】

これまで分科会で 2 つのテーマを軸に進めてきた。関川河川敷のこともかなり議論を詰めてきた事項であるため、環境、景観保全の河川敷の植栽活動も②構成要素に含めてはどうか。

【船崎会長】

関川河川敷の植栽活動も②構成要素として入れてよいか。

(よしの声)

構成要素はこの 3 つで決めてよいか。

(よしの声)

構成要素の分野の 3 つを網羅した形で、全体テーマはどのような言葉にするか、意見があれば、挙手の上、発言を願う。

【横山委員】

話が大きく広がりすぎてしまった気がするので、一つにまとめるのは非常に難しいように思う。

【千町委員】

その 3 つの分野の上に記載されている「住みやすい地域づくり」が全体的なテーマとして良いのではないか。

【船崎会長】

「住みやすい地域づくり」でよいか。

【佐藤委員】

②構成要素に「住みやすい地域づくり」が別表記されていることについて、意図を確認したい。

【渡邊係長】

三役と事務局での事前打合せ時に、会長から、「住みやすい地域づくり」が共通事項ではないかという意見をいただき、そのためにはどうするかということを念頭に、地域交流、防災・防犯の2つの構成要素を整理した。

千町委員の意見のとおり、全体的な共通事項としている言葉であり、分野とか構成要素という枠でなく、記載されている2つの要素に整理するためのポイントとして記載している。

全体を網羅しているキーワードとして解釈していただいてよい。ただ、委員の皆さんには諮っていないので、それも含めて意見をいただければと思う。

【船崎会長】

千町委員の意見のとおり、「住みやすい地域づくり」を全体テーマとしてよいか。

【横山委員】

表にある分野、課題、提案、要望は今後どうなるのか。

【渡邊係長】

今回は全体テーマを決めるということだが、テーマが決まった後、例えばそのために地域でどのような活動が必要かという検討のヒントになると思い、皆さんからの意見を細かく資料に残している。皆さんに今後こういう事業を実施してくださいということではない。

【船崎会長】

基本的にこの場では全体テーマを決めるのが主題。そのために皆さんから細かく書いてもらった意見を、構成要素とか分野に分けて、最終的には全体テーマを決め、それに対して我々がどう審議していくのかということをしている。

先ほど千町委員から「住みやすい地域づくり」を全体テーマとしてはどうかという意見があったが、いろんなものが網羅でき、今後はこのテーマに沿って、細かいことをやっていくことになるがよろしいか。

(よしの声)

全体テーマとしては「住みやすい地域づくり」を新道地区の全体テーマとして挙げたいと思う。

以上で次第2 議題「(1) 協議事項」の「地域活性化の方向性について」を終了する。
次に、次第2 議題「(2) 自主的審議事項」に入る。

最初に新道地区活性化プロジェクト委員会の進捗状況をお伝えする。

5月12日に第2回準備委員会を開催した。出席者は、町内会長連絡協議会から3人、地域協議会からは私と両副会長、老人会会長等のほか、富岡小学校と稲田小学校のPTA関係者が一人ずつ出席し、話を進めた。

今後は、新道地区町内会長連絡協議会が中心となって進めることとし、先に町内会長連絡協議会から役員を選出し、その後、他の役員を決定することにした。役員が決まった後で規約等の詳細を決めていく。

地域協議会は基本的に関与しないが、助言や意見をすることはできる。

その後、5月17日に開催された新道地区町内会長連絡協議会の役員会において、会長1人、副会長2人の三役を選出することとなり、会長には町内会長連絡協議会会長、副会長には地域協議会から私、もう一人は老人会からの選出としたが、まだ決まっていない。6月14日の会議で正式に決定することになった。

他の役員は、町内会長連絡協議会から、北部の大道福田の会長、中部の稲田4丁目の会長、監事・会計は南部の子安の会長を選出した。

6月14日の会議で役員を決定し、そこで規約等も決めて、最終的には7月頃に、正式な委員会として発足するという運びになる。町内会長連絡協議会においては、一昨日会議があり、その場で了承されている。そのため、今後は、町内会長連絡協議会を中心に行う形になると思われる。

今の説明に質疑を求める。

(発言なし)

以上で次第2 議題「(2) 自主的審議事項」を終了する。

次に次第2 議題「(3) その他」に入る。

本日の議題等に関して、何かあるか。

(発言なし)

以上で次第2 議題「(3) その他」を終了する。

最後に、次第3「その他」の「(1) 次回開催日の確認等」に入る。

— 日程調整 —

- ・ 次回の協議会：6月27日（火）午後6時から 新道地区公民館 多目的ホール

- ・内容：協議事項 自主的審議事項
最後に何かあるか。

【井守副所長】

- ・ヒアリング調査について説明。

【船崎会長】

このことについて意見を求める。

【杉田委員】

地域独自の予算の仕組みがわからないので質問する。

【小林所長】

地域の団体が事業提案したものについて、まちづくりセンターや総合事務所が窓口となり、市の予算編成に組み込む。その後、財政当局、市長の予算査定を経て、最終的には3月定例会で市議会の承認を得て次年度の予算として決まるという流れを承知いただきたい。

杉田委員が、新道区における地域独自の予算の件数及び金額について、問題意識を持っていることは承知している。まちづくりセンターでこの仕組みを変えることはできないが、ご意見はぜひ本日配布したアンケートに記入していただきたい。

【杉田委員】

今年度、新道区では102万9千円の予算がついているが、地域協議会で審議した記憶がない。

【小林所長】

これまでは地域活動支援事業の制度上、採択審査は地域協議会で実施していた。自分たちが審査したので記憶に残ると思うが、地域活動支援事業は令和4年度分の審査で終了し、地域独自の予算が始まった。令和5年度分に関しては、先程説明した仕組みで予算が決まったため、委員の記憶になくて当然である。

【杉田委員】

予算については理解した。

このほか、今まで話し合ってきた、河川敷や植栽に関することがゼロになってしまっているが、今後どうしていくのか。

【小林所長】

交流分科会の発案で、グラウンドゴルフ大会で地域の交流を深めよう、というところ

から始まり、実施団体を設立し、グラウンドゴルフ大会を一緒に実施していくことを目標にしていたが、現在では、新道地区町内会長連絡協議会が中心となり、今後の活動内容も含め、自主的に行うこととなった。地域協議会の手元から離れたということである。

まちづくりを語る時、地域独自の予算の件数や金額または意見書を提出した件数に目が行きがちだが、事業の実施団体がなければ何も始まらない。

昨今、社会で担い手不足と言われている中、新道区地域協議会がまちづくり団体という担い手をつくるきっかけを作ったことは、非常に大きな成果だと思う。

今年度は事業実施に間に合わない可能性もあるが、今後、設立された実施団体が植栽またはグラウンドゴルフ大会で地域独自の予算を使う可能性は十分ある。

【杉田委員】

理解した。

【船崎会長】

今後は新しい委員会で全面的に計画を立て、市に予算要求をしていく。次年度分の予算要求は9月までであり、間に合いそうもないので、令和7年度予算に向けて準備を進めていくこととしている。

【佐藤委員】

次回の協議会は、また内容が地域活性化の方向性、自主的審議ということで、その時の協議内容のレジュメは配布されるか。あらかじめ内容が分かれば、少し勉強したり何か調べたりして臨んだ方が良いと思っている。次回は何を協議するか知りたい。

【渡邊係長】

地域活性化の方向性の協議予定としては、今日で構成要素が決まり、次回で全体テーマを協議する流れになることを想定していたが、今日全体テーマが決まったので、次回は今日の意見を紙に落とし、もう一度、言葉を整理する必要性について確認したい。

【小林所長】

今回の方向性の決定は予定外だったと思うが、本来は自主的審議として、地域の課題を皆でテーマを決め、解決策を考えるのがこの地域協議会の本来のあり方で、この後、せつかく地域の方向性なり、課題なり、目指す方向について共通認識が持てたので、この方向性の中からまた新しいテーマを見つけ、それを自主的審議していきたいと事務局では考えている。

また、正副会長と事前に打ち合わせをして、自主的審議で審議していただく材料を揃

えるので、今日はこれで終了とする。次回もおそらく自主的審議という形で進めることになる。

それについてのテーマの出し方は、早めに正副会長と話を示したい。

【船崎会長】

地域協議会の仕事は、市長に対して新道地区の課題を提言したり、意見を述べたり、要望したりということが最終的な目標となる。次回からはそのような方向へ進んでいきたいと思う。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-1690

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。